

## 令和4年度豊能二次医療圏病院連絡会における病院からの説明

## (1) 公立・公的病院

- 市立豊中病院
  - ・公立病院経営強化プラン（R5年度～5カ年）の策定
- 市立池田病院
  - ・医師の働き方改革で、産科の宿日直許可が得られなければ、地域に産科病棟がなくなる可能性がある。
  - ・公立病院経営強化プランは資料作りに入ったところ。宿日直許可の有無で大きく変化する。
  - ・9月に稼働した川西医療センターの影響を懸念している。
- 市立吹田市民病院
  - ・公立病院経営強化プラン中期計画（4カ年）をR5年度中に策定予定。
- 箕面市立病院
  - ・R4年度、手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術件数は大幅に増加。
  - ・公立病院経営強化プランをR5年度中に策定予定。
  - ・令和9年度中に新病院の開院を目指して、建て替え移転予定。
  - ・豊能医療圏内の病院との再編統合に向けて、R5年度中に指定管理者の決定を実現させたい。
- 大阪刀根山医療センター
  - ・60床を休床してコロナ専用病棟として対応中。コロナ終了後は、看護師の配置を元に戻し、今までの病床機能に戻すので了承してほしい。
  - ・来年早々、コロナ病棟の場所に肺がんセンターを立ち上げ、機能強化していく。
  - ・筋ジストロフィーの診療を含めて神経内科の充実を図る。
- 関西メディカル病院
  - ・救急医療の依頼件数が増え、不応需が毎年増加している。
  - ・R4年10月にICUを5床から8床に整備完了。26床まで整備予定。
  - ・合併先は決まっていないが、他病院等合併して増床したい。増床スペース確保のため整備中。手術室も4室から7室へ増やす予定。
- 大阪市立弘済院附属病院
  - ・2026年2月大阪市南部へ再編統合予定。
- 大阪大学医学部附属病院
  - ・2025年に向けて、再生医療展開のため、新棟（外来機能、ICUや手術）建設中。一部、総合母子医療センター（産科・新生児医療）、アイセンター（眼科診療）として運営予定。
- 大阪府済生会吹田病院
  - ・地域母子周産期の積極的な受け入れをしている。
  - ・小児地域医療センターを設置。
- 大阪府済生会千里病院
  - ・昨年から、コロナ対応のため、小児科病棟の入院を制限。今後小児科外来は継続し、入院は大阪府済生会吹田病院と連携協定の締結。
- 国立循環器病研究センター
  - ・診療実態は変更なし。現在休棟中の23床は、今後順次オープン予定。

## (2) 民間病院

○豊中敬仁会病院：病床機能を過剰病床に変更する予定病院

(説明) 令和4年1月に手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入。手術件数増加に伴い、障がい者病床を全て急性期病床に転換したい。

(意見) 障がい者病棟は廃止して、病院全体を急性期にしたいという意向か。

(回答) 一般の急性期患者が入院できない現状。透析患者は継続して診るが、現状では経営が成り立たない。急性期病床に変更して診療したい。

○豊中若葉会病院：病床機能を過剰病床に変更する予定病院

(説明) 府の報告基準に伴い、2階病棟の60床を急性期から回復期として報告。看護体制を整え、回復期(地域一般入院料2)から急性期(急性期一般入院料6)へ転換したい。

(意見) 特になし